

一 般 質 問 要 綱

令和4年第3回3月定例会

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
1	3	山口文章	<p>1 子供の防犯安全対策について</p> <p>昨年11月9日に、宮城県登米市内の認定こども園に包丁を持った不審者が侵入する事件が発生しました。この事件は子供が集う施設が標的になった衝撃が大きく、県内の教育・保育施設では、不審者対策を強化する動きが広がり始めています。また、本市では、小中学校通学路での不審者の声掛け事件などの防犯対策や、通学路での安全対策も重要となっていることと思います。</p> <p>子供たちの安心・安全を守るための、施設での対応マニュアル整備や訓練、通学路における安全かつ防犯対策がこれまで以上に重要になっていますが、本市での施設や通学路での防犯対策の現状と対策等、また今後の取組について伺います。</p> <p>(1) 市立こども園、小中学校の防犯対策について</p> <p>ア こども園侵入事件発生を受けて、本市の対応と考えについて伺います。</p> <p>イ 現状における、教育・保育施設の防犯対策について伺います。</p> <p>ウ 施設での不審者対応マニュアルについて伺います。</p> <p>エ 施設での訓練などの実施について伺います。</p> <p>(2) 施設や通学路における防犯対策、交通事故防止対策について</p> <p>ア 通学時の防犯対策、事故防止対策について伺います。</p> <p>イ 冬期間（降雪時）の通学路について伺います。</p> <p>ウ 防犯カメラについて伺います。</p> <p>エ 冬期間の自転車通学不可の生徒に対する支援の拡大について伺います。</p> <p>2 感染症拡大による問題について</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大が続く中、保育園や幼稚園、小中学校の休園・休業の影響が本市にも広がっています。特に、休園や学級閉鎖、休業など、子供達にも感染症拡大が広がっています。保育園、幼稚園、小中学校での子供達や保護者の心配は多くあり、不安を抱えて生活していると思います。その現状を的確に捉えて、少しでも安心して生活できるべく市は様々な支援を行っていますが、その各支援や各施設の現状と今後の取組について伺います。</p> <p>(1) 市内の幼保施設、小中学校の現状について伺います。</p> <p>ア 感染症の影響を受けて行っている、休園、学級閉鎖、休業について伺います。</p> <p>イ 子供達に感染症が拡大している理由について、施設側の見解を伺います。</p> <p>ウ 現状の対策について伺います。</p> <p>エ 小中学校における学級閉鎖、休業した際の学習方法について伺います。</p> <p>(2) 本市の「新型コロナウイルス感染症に係る休暇給付金」について伺います。</p> <p>ア 本市の「新型コロナウイルス感染症に係る休暇給付金」の内容</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>と申請状況、国の「小学校休業等対応助成金」との違いについて伺います。</p> <p>イ 制度の周知方法について伺います。</p> <p>ウ 本市の「新型コロナウイルス感染症に係る休暇給付金」の今後の対応について伺います。</p>
2	19	後藤 誠 司	<p>1 新型コロナウイルス感染症（オミクロン株）対策について 新型コロナウイルス感染症は、変異株オミクロン株により、第6波が急拡大しております。オミクロン株は感染力が強く、職場や学校、こども園等でクラスターが発生しており、市民生活へも大きな影響を及ぼしております。</p> <p>そこで以下の点について伺います。</p> <p>(1) 小中学校、こども園、児童クラブの休業・学年閉鎖、休園等について</p> <p>ア 直近の休業・学年閉鎖数及び休園数等と期間について伺います。</p> <p>イ 休業・学年閉鎖、休園等の基準とマニュアルについて伺います。</p> <p>ウ 保護者への周知はどのようにされているのか伺います。</p> <p>エ 休業・学年閉鎖の場合の、タブレット活用によるオンライン授業の対応について伺います。</p> <p>(2) 3回目のワクチン接種について</p> <p>ア 現在までの進捗について伺います。</p> <p>イ 接種券の発送状況と予約状況を伺います。</p> <p>また、ファイザー製とモデルナ製ワクチンの予約割合についても伺います。</p> <p>ウ 学校の教職員、こども園の保育士、介護職員等の優先接種の状況について伺います。</p> <p>エ 子供（5～11歳）へのワクチン接種予定について伺います。</p> <p>(3) 自宅療養者について</p> <p>ア 本市での実態について伺います。</p> <p>イ 課題について伺います。</p> <p>2 ふるさと納税について 近年、ふるさと納税額が増加しているようで、度々追加補正をしている状況であり、好ましい状態であると認識いたします。</p> <p>今後の推進に向け、以下の点について伺います。</p> <p>(1) ふるさと納税額について</p> <p>ア 過去3年間（平成30年度から令和2年度）の実績と今年度の実績を伺います。</p> <p>イ 過去3年間（平成30年から令和2年）の本市市民が他市町村等へふるさと納税した額と実質増加額を伺います。</p> <p>(2) 用途についてのアンケート結果について伺います。</p> <p>(3) 返礼品も含めた経済効果について伺います。</p> <p>(4) 今後の課題について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
3	13	齋藤 仁一	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 市内の感染状況がどうなっているのか。また、第3回ワクチン接種状況と今後の見通しについて伺いたい。</p> <p>(2) 発熱外来、PCR、抗原キットなどの資材確保及び検査体制の充実は図られたのか伺いたい。</p> <p>(3) 市内小中学校における感染防止のための学級、学年閉鎖及び休業、児童クラブの休業の実態と市の対応について伺いたい。</p> <p>(4) 子供の学びの確保、安否確認、食事の確保の確認など、どのような体制で対応しているのか伺いたい。</p> <p>(5) 子供の感染による保護者の休業など、生活を一変させる事態が生じているが、市の実態把握と対応について伺いたい。</p> <p>2 有機農業及び環境保全型農業の推進と学校給食について</p> <p>(1) 国は、有機農業の拡大を目指す「みどりの食料システム戦略」を示しているが、市の現状と今後の施策展開、そして数値目標をどうするのか。また、農林業ビジョンの見直しも必要と考えるがどう対応するのか伺いたい。</p> <p>(2) 特別栽培の取組の現状はどうなっているのか。また、今後の見通し、推進施策及び数値目標について伺いたい。</p> <p>(3) 千葉県いすみ市では、学校給食に有機食材を導入し、農業所得の向上とまちづくりの視点で施策展開を図っているが、農業を基幹産業としている本市も積極的に取り組むべきと考えるがどうか伺いたい。</p> <p>(4) 遠藤市長の11の公約の②「疲弊した社会と経済の再創造」で地域経済の立て直し、農業の振興に努めるとあるが、具体的にはどうするのか伺いたい。</p> <p>3 2022年市長選挙について</p> <p>(1) 2022年市長選挙の年代別、地区別投票率はどのようになったのか。また、これらの分析についての見解を伺いたい。</p> <p>(2) 今後、市長選挙をはじめ、各選挙の投票率向上を目指した啓発活動をどう進める考えなのか伺いたい。</p> <p>(3) 遠藤市長は今回の選挙の投票率をどのように受けとめているのか。また、今後の市政運営をどう図る考えなのか伺いたい。</p>
4	10	遠藤 吉正	<p>1 アフターコロナを見据えた観光振興施策をどのように取り組むのか</p> <p>(1) 本市観光の現状を、どのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) コロナ禍の中で、これまで取り組んできた観光施策の検証はどのように行ったのか。また、その内容についてどのような総括を行ったのか伺う。</p> <p>(3) 令和4年度における観光振興施策について、どのような具体的戦略で取り組んでいくのか伺う。また、それに伴う事業及び予算についても伺う。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>2 今後の経済施策をどのように取り組むのか</p> <p>(1) 市内経済（商工業）の現状を、どのように捉えているのか伺う。</p> <p>(2) 令和2・3年度に取り組んだ市独自の経済対策（商工業）の検証とその総括について伺う。</p> <p>(3) 令和3年第9回定例会において、上野利一郎議員から消費喚起対策事業に関する一般質問があったが、その質問と回答の要約を伺う。</p> <p>(4) 令和4年1月に開催された「喜多方市新型コロナウイルス経済対策懇談会」での意見・要望等についての概要について伺う。</p> <p>(5) 令和4年度における具体的な経済対策（商工業）について伺う。また、市内経済喚起策としてプレミアム付商品券事業を実施すべきと考えるが、事業の実施について伺う。</p> <p>3 公立・私立保育所等への危機管理情報では違いがあるのではないかと</p> <p>(1) 市の危機管理情報発信において、公立こども園と私立幼稚園・保育所等では、伝達において違いがあったのか伺う。</p> <p>(2) 令和2年8月に、喜多方地方保育所連絡協議会私立保育園部門から危機管理に関する情報発信について要望書が提出されたが、その回答内容及び具体的な改善は行われたのか伺う。</p> <p>(3) 喜多方市内における公立こども園と私立幼稚園・保育所等、児童の情報発信による安全確保は公立・私立分けることなくすべきと考えるが、市の基本的な考え方を伺う。</p>
5	2	小澤 誠	<p>1 マイナンバーカードの健康保険証との一体化について</p> <p>昨年3月からマイナンバーカードを健康保険証として運用開始しています。利用するにはマイナンバーカードを保険証として使用する登録が必要だとしています。</p> <p>(1) 喜多方市民のマイナンバーカード所有人数、そのうち健康保険証として使用する登録者は何人か。</p> <p>(2) 喜多方市内でカードリーダーが設置されている医療機関は何か所、何%か。</p> <p>(3) 市民はマイナンバーカードと健康保険証の一体化によって、どのような「利便性」が得られるのか。</p> <p>(4) 市民の間では、法律の改正によって地方自治体の個人情報保護条例が廃止され、法律に一本化されることへの心配をしている人もいるが、どのように説明し、対応しようとしているのか。</p> <p>2 住民所得の地域格差を縮小することについて</p> <p>地域の購買力を高め、地産地消の地域経済好循環をつくるのには、所得の向上は避けて通れない課題です。また、昨年、最低賃金はしばらくぶりに時給28円引き上げられましたが、それでも地域間の格差は拡大しています。</p> <p>(1) 一人あたり分配所得が喜多方市は県内13市中13位です。この引上げのためにどのようにすればよいと考えていますか。</p> <p>(2) 地域別最低賃金でDランクの福島県は時給828円、Aランクの東</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>京都は時給1,041円です。なぜこのような大きな賃金格差ができていると考えていますか。</p>
6	21	山口和男	<p>1 8ヶ村共有地について 喜多方市山都町一川字三辺坂甲 1167 番地 3、山都町一川字高寺甲 1164 番地 2、山都町一川字蕨平甲 1165 番地 4 の 3 筆で計 206,745 m² の山林ですが、大正 11 年 8 月 28 日第 1144 号で、権利者その他の事項欄に、原因、大正 11 年 3 月 23 日売買、慶徳町松舞家の A さん外 245 名の共有者の共有地があります。そこで、以下の点について伺います。</p> <p>(1) A さんは昭和の合併前の旧慶徳村の村長の方でありました。共有者として 8 ヶ村の方々の名前が記載されておりますが、旧慶徳村からは舞台田、旧豊川村からは太郎丸、高吉、綾金、長尾、荒分の 5 村、旧堂島村からは柴城、台の 2 村の計 8 ヶ村の 246 名です。全員が 246 分の 1 の持ち分として喜多方市の課税台帳に載っていると思いますが、これは誰と誰が売買したのでしょうか。市の見解をお聞かせください。</p> <p>(2) 平成 30 年 5 月 1 日付け、N さん外 245 名の固定資産税納税通知書兼課税明細書についてですが、N さんが納税義務者になる承諾書は、現在、税務課に保存されてあるのでしょうか。</p> <p>(3) 山都村、山都町役場、喜多方市税務課のいずれかに固定資産税台帳があり、いつから納税義務者に送付しましたか。その記録が残っているならば明らかにしてください。 また、いつの時点から課税が始まり、総額は幾らになったかも伺います。</p> <p>(4) この 3 筆の評価額とその根拠を教えてください。 また、この共有地は相続未登記で、誰の土地だか分からないのに課税できる根拠をお知らせください。市が一般承継財産として買い取ることを求めますが、市の見解をお聞かせください。</p> <p>(5) 喜多方市の課税台帳は、改製不適合物件です（昔の謄本から現在のコンピューターの謄本に改製する際に、コンピューター化に不適合な物件）。 未だコンピューター化されていないブック式の手書きと和文タイプの混じった明治、大正時代からの登記事項が書き連ねてあるバインダータイプであり、この土地は相続未登記ですから課税するなら納税義務者かどうかははっきりしない方の名義をもって課税するのではなく、喜多方市が職権で 246 名の相続登記をしてから個人に課税するのが筋でないでしょうか。入会権で示したとおりにそもそも 246 名は持分を持たないこととなりますが、お伺いします。</p> <p>(6) カーボンニュートラル宣言をしている本市は、再エネのバイオマスエネルギーの材料山として利活用を図ることを考えるべきではないでしょうか。令和 4 年度のわくわく推進事業の森林資源活用事業では 95,000 円が計上してありますが、この金額で何をするのか</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			読み取ることはできませんが、ここにバイオマスエネルギーの材料山を加えた補正事業としてわくわく推進事業を進めていくことと考えるといかがですか、お伺いします。
7	4	十二村秀孝	<p>1 農村RMOの育成について 農水省は2022年度から、中山間地域で農地保全や住民の生活支援などを担う「農村地域づくり事業体（農村RMO）」の育成を始めるとしています。農村RMOは、集落営農組織や農業法人などが、住民の買い物や子育て支援を担うなど、事業を多角化させることを想定しています。そこで、次の2点について伺います。</p> <p>(1) この事業の概要及び要件について伺います。</p> <p>(2) 人口減少などにより弱体化する集落機能を補完することが期待されるため、取組を積極的に進めるべきと考えるが、市の考えを伺います。</p> <p>2 特定地域づくり事業協同組合制度について 令和2年9月定例会において質問しましたが、地域の様々な業種を組み合わせることで、新たな雇用の場を創出し、移住・定住を促進する効果が期待される制度であります。そこで、次の2点について伺います。</p> <p>(1) 現在までの進捗状況について伺います。</p> <p>(2) 今後、この制度の推進に対する市の考えを伺います。</p> <p>3 会津型の普及について 最近、本市が所有する染物の模様となる型紙である「会津型」を用いた商品が増えてきております。喜多方由来のこの会津型は36,500種類以上あるともいわれております。そこで、次の4点について伺います。</p> <p>(1) 会津型を用いた商品を取り扱う店舗は市内に何店舗あるのか伺います。</p> <p>(2) 会津型のデータを使用するための方法について伺います。</p> <p>(3) 市民がデータを利用するにあたり何か制約があるのか伺います。</p> <p>(4) 会津型の更なる普及に向けて、市の今後の取組や進め方について伺います。</p>
8	7	渡部一樹	<p>1 教育の在り方と福祉の連携について 昨年12月中旬、市内小学校で由々しき事案が発生した。同じようなことが二度と起きないことを願い、以下質問する。</p> <p>(1) 事案発生当初の学校側の対応は適切であったのか、認識を伺いたい。</p> <p>ア 被害児童をそのまま帰宅させた判断は妥当であったか。</p> <p>イ 校長、教頭、保護者での面談に臨む学校側の態度は不適切だったのではないか。</p> <p>ウ ア、イに係る対応について、会津教育事務所、県教育庁の見解はどのようなものかお示しいただきたい。</p> <p>(2) 今年度、この小学校においてはある学年で3人も担任が変わる事</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>態となった。児童への影響をどのように認識しているのか、見解を伺いたい。</p> <p>(3) 以上のことも踏まえ、学校現場や教員がこのような事案に対応するのは限界があると考えている。市教委、学校、福祉関係課の連携強化の下、抜本的な対策を求め、見解を伺いたい。</p> <p>(4) 支援が必要と思われる児童生徒の保護者への支援、指導等はどのような方針・体制で進められているのか伺いたい。また、課題はどのようなものか伺いたい。</p>
9	6	小島 雄一	<p>1 遠藤市政二期目の展望を伺う</p> <p>真冬の市長選を戦い抜いての当選をお祝いいたします。新型コロナウイルス感染症による非常事態の中、市民は市政の継続を選択し、本市の将来を遠藤市長に委ねたわけでありますから、その負託に応えるべく、奮闘されますよう、お願いいたします。</p> <p>さて、今回の市長の公約について、何点かお伺いいたします。</p> <p>(1) 全国1,718基礎自治体の競争到来、アイデア勝負と演説しておられたが、市職員や市民のアイデアをどのように採用するのか伺う。</p> <p>(2) 疲弊した社会と経済の再創造をどのように取り組むのか伺う。</p> <p>(3) 文化芸術創造都市構想の推進をどのようにするのか伺う。食文化の発信や将棋の振興、愛の31文字コンクールの復活等を検討すべきではないか伺う。</p> <p>2 令和4年度の本市の農業政策について</p> <p>新型コロナウイルスの感染流行は3年目になり、ウィズコロナの生活様式が定着するようになってきている。国民の食糧を生産する農業も、それに従って在り方を変えざるを得ない。本市の農業も同様である。そこで伺う。</p> <p>(1) 令和4年度の経営所得安定対策等の概容を伺う。また、生産数量の目安の昨年の達成状況と令和4年度の配分数を伺う。</p> <p>(2) 飼料用米生産拡大緊急対策事業と水田農業高収益化緊急対策事業の実績を伺う。</p> <p>(3) 政府が注力する輸出とみどりの食料システム戦略にどのように対応するのか伺う。</p>
10	5	上野利一郎	<p>1 有害鳥獣被害対策について</p> <p>本市では、令和3年度から有害鳥獣対策室が設置され、増加しつつある有害鳥獣被害を削減する事業が重点的に実施されている。</p> <p>そこで、以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 令和3年度の市内5地区（旧市町村）の被害状況について</p> <p>ア ツキノワグマ・イノシシ・ニホンザルの捕獲実績について伺います。</p> <p>イ 農作物への被害金額についても伺います。</p> <p>(2) 令和3年度の電気柵支援事業について</p> <p>ア 電気柵購入支援事業の市内5地区（旧市町村）への補助実績と総延長について伺います。</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>イ 電気柵貸出し件数についても市内5地区の内訳を伺います。</p> <p>(3) 令和3年度の有害鳥獣対策事業の実施結果の考察について</p> <p>ア 集落診断や電気柵購入支援事業及び追い払い煙火の配布状況、農作物被害状況等の結果から、どのように考察されているのか伺います。</p> <p>イ 考察の結果から、令和4年度はどのように取り組むのか伺います。</p> <p>2 移住・定住施策について</p> <p>本市では、令和4年度から実施予定の事業を含めて、若者の移住・定住に結びつけるための事業が行われている。</p> <p>そこで、以下の2点について伺います。</p> <p>(1) 雇用の創出について</p> <p>ア 令和3年度の喜多方綾金工業団地に係る企業誘致活動の内容と実績について伺います。</p> <p>イ 令和4年度から予定されているサテライトオフィス整備事業の内容と企業誘致の手法について伺います。</p> <p>(2) インフラ整備事業について</p> <p>ア 喜多方綾金工業団地へのアクセスに重要な豊川・慶徳線の整備の進捗について伺います。</p> <p>イ 若者が親と同居しながら、地域コミュニティの構築に資するため実施されている多世代同居住宅取得支援事業の令和3年度の実績とその効果について伺います。</p>
11	9	菊地とも子	<p>1 SDG sの取組について</p> <p>(1) SDG sの考え方について</p> <p>市民や事業所へ浸透させ認識や理解が高まるよう、更なる普及啓発事業に取り組むべきと考えます。これまでの取組と今後の具体的な取組について</p> <p>(2) 喜多方市環境基本計画中間見直し(案)が示されましたが、ゼロカーボン(2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ)に向けた具体的な取組について</p> <p>2 高齢者支援について</p> <p>(1) 本市の高齢者及び一人暮らしの人数と高齢化率について</p> <p>(2) 緊急通報システムを利用して緊急通報に至った件数及び救急車要請等のあった件数について</p> <p>(3) 緊急通報システムの取組の効果と課題について</p> <p>(4) 緊急通報システムを希望される方で電話回線の無い方への対応について</p> <p>(5) 安全協力員の役割とその効果と課題について</p> <p>(6) 見守りロボットの導入について</p> <p>3 移住・定住支援について</p> <p>(1) 移住者住宅取得支援事業の実績・効果・課題について</p> <p>(2) 多世代同居住宅取得支援事業の実績・効果・課題について</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
12	1	矢 吹 哲 哉	<p>1 市長2期目の政治姿勢と重点施策について</p> <p>(1) 岸田政権は、「敵基地攻撃能力」の検討を米国に約束して進めようとしている。憲法9条違反であり、9条を生かした平和外交に努めるべき。喜多方市民を代表し、検討の撤回を求めるべきではないか、市長の見解を伺う。</p> <p>(2) 小中学校の学力調査の結果公表の変更(点数化と学校別公表)は止めるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p> <p>(3) 「地域性に配慮した小中学校の適正配置に努める」と公約したが、具体的にどうするのか、市長に伺う。</p> <p>(4) カーボンニュートラル宣言に基づく、2030年までの46%削減をどのように進めるのか伺う。</p> <p>(5) 「再生可能エネルギー先駆けの地を目指す」との公約に、地域新電力組織設立の計画は市長の構想に入っているのか伺う。</p> <p>(6) 「疲弊した社会と経済の再創造」を公約に掲げ、基幹産業の農業・商工業・観光業・伝統産業などの振興に努めるとしているが、具体的にどのような施策を行おうとしているのか伺う。</p>
13	8	蛭 川 靖 弘	<p>1 デジタルコミュニティの創造と民間との連携について</p> <p>遠藤市政の2期目がスタートしましたが、選挙の際に送られてきた遠藤市長の選挙はがきに書かれていた項目に「デジタルコミュニティの創造と民間との連携」と書かれていました。この件について伺います。</p> <p>(1) 遠藤市長が掲げた「デジタルコミュニティ」とは何か。</p> <p>(2) 「デジタルコミュニティ」を創造すると、どのような効果があり、喜多方市はどのように変化するのか。</p> <p>(3) 「デジタルコミュニティの創造と民間との連携」とは、何と何を連携させるのか。</p> <p>(4) 「デジタルコミュニティの創造と民間との連携」が実施されると、喜多方市はどのように変化するのか。</p> <p>(5) 何を目的に「デジタルコミュニティの創造と民間との連携」を実施し、その成果はどのように計るのか。また、その期間について伺う。</p> <p>2 本市のICT及びDXの進捗状況について</p> <p>本市は2001年度から2004年度にかけて、メインフレーム上で独自に稼働していた基幹業務システムを、パソコンLANで稼働するパッケージソフトへ転換した上で、市内のデータセンターに運用・保守をアウトソーシングする選択をしました。</p> <p>パッケージソフトへの転換もさることながら、運用・保守業務をアウトソーシングしたことは全国でも先進的であり、費用対効果だけではなく、その後に続くセキュリティ対策なども考慮すると、素晴らしい英断であったと評価します。</p> <p>一方で、あれから20年が経過する中で、行政の基幹業務システムは当時のパッケージシステムのバージョンアップ、法律の改正に伴う</p>

通告順	議席番号	質 問 者	質問事項及び質問要旨
			<p>カスタマイズによって運用を続けている状況であり、システムの大きな変化はない状況と認識しています。</p> <p>昨年、国ではデジタル庁が創設され、すでにGビズによる電子申請やガバメントクラウド等が稼働を始めたほか、地方公共団体の基幹業務の統一・標準化が進められています。また、サイバーセキュリティの確保や、民間組織とのデータ連携など、ICT化を進めるにあたって新たな課題が生まれてきており、地方自治体においてDXと呼ばれるICT化の改革が急務となってきています。</p> <p>(1) 喜多方市総合計画の中にICT化を推進する計画が見当たらないが、基幹業務の改革を筆頭に、市政の中にデジタル技術を取り入れる計画について伺う。</p> <p>(2) 過去3年間において、国や県からの要請や法改正以外に、本市基幹業務システムを改善もしくは機能追加した項目、内容、その決算額について伺う。</p> <p>(3) 「デジタルコミュニティの創造と民間との連携」を、本市基幹業務システム上にどのように実装するのか伺う。</p> <p>(4) 本市のICT推進について、どのように推進していくべきなのか、市長の考えを伺う。</p>
14	12	関本美樹子	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>(1) 現状の緊急対策と目前の感染症社会における防御と支援体制を、市としてどのように構築していくのか。</p> <p>(2) 全市民に寄り添う感染症対策とは、どのようなものかと考えているのか。</p> <p>2 会津盆地、北西地域の文化財調査結果について</p> <p>(1) 上記古墳群の価値を文化財の中核としてどのように位置づけているのか。</p> <p>(2) 市民と市外からの訪問者へ、歴史的理解の深まりをどのように伝え、サポートしていくか。</p> <p>(3) 将来的に上記テーマを施策の一部としてどのように位置づけ、発展させていこうとしているのか。</p>